

議事録

日 時	令和 6 年 1 月 19 日 (金) 10:00~11:00	
場 所	河内長野市役所 8 階 会議室	
議 題	令和 5 年度 第 8 回 河内長野市 UR 南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会	
出席者	推進委員	9 名
	事務局 (河内長野市政策企画課)	3 名
	設計 JV(梓設計、現代ランドスケープ)	5 名
資料等	<p>【資料 1】 マスター工程表(案)</p> <p>【資料 2】 遊び場計画資料</p> <p>【資料 3】 身障者用スペース計画資料</p> <p>【資料 4】 ワークショップ報告資料</p>	
議 事	<p>1. 開会</p> <p>2. 案件</p> <p>(1) マスター工程 (全体スケジュール) について確認。【資料 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスター工程表の変更点について説明。 ・ これまで令和 7 年 9 月の施設オープンを目指し進めていたが、財源となる国土交通省所管の都市構造再編集中支援事業補助金について、令和 6 年度の申請額に対して交付額が下回る可能性もあることから、同補助金による事業費の平準化(2 か年事業から 3 か年事業にして各単年度事業費を下げる)を行うことが、補助金の充当率を高める上で最善策であることを確認し、これを受け、財源確保を最優先し本事業を推進するため、工期変更を行うことにした。 ・ 令和 6 年 4 月~令和 7 年 8 月(17 カ月)の工期を令和 6 年 7 月~令和 8 年 6 月(24 カ月)に延長。 ・ 工事工程の調整の結果、A ゾーン供用開始を令和 8 年 7 月(10 カ月遅延)、B ゾーン供用開始を令和 7 年 4 月 (5 か月前倒し)とし、賑わい施設オープンを令和 7 年 8 月とする。 ・ 工期等の変更を加味し、マスター工程も変更。 ・ 現在実施設計がほぼ完了しており、積算の最終調整を行っている。 ・ 2,3 月は確認申請作業を行う予定である。 ・ 設計業務は 3 月末をもってすべて完了する予定である。 <p>(2) 遊び場計画の前回からの変更点を説明。内容は以下の通り。【資料 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回推進委員会にて、子供だけでなく大人も使える遊具が欲しいという要望を受け、階段ルート、健康機能を含む遊びウォールや縁台ベンチを新たに設置した。 ・ 健康機能を含む遊具は、公園全体で統一されたデザインである白いコンクリートウォールに、腹筋などができるようなパイプ等を設置する計画としている。 ・ 自然学習機能を持った遊具は、コンクリートウォールに空いた穴から、自然学習を兼ね備えた盤面が見えるような計画としている。 	

- ・ 音遊具も白いコンクリートウォールに設置する計画としている。

以下、推進委員会意見を記載

- ・ 健康遊具の使い方をサイン等で明示したほうが良いのではないか。
- ・ 自然学習を記載した盤面は全体のサイン計画に統一するか、統一しないのであればウォールにうまく溶け込ませたほうが良いのではないか。
- ・ コンクリートウォールの形状にエッジが効きすぎているため、さらに地形と合わせた一体的な形状を検討してほしい。
- ・ 遊び場に設けるサイン盤等は日本語のみの表記なのか。多言語や音声等、ダイバーシティに対応したものなのか。
- ・ 周辺の山の名称などを案内板に記載してもよいのではないか。

(JVより回答)

- ・ 健康器具の使い方はサインや文字等で使い方を明示するなど検討する。
- ・ コンクリートウォールは、パース上はエッジが効いているように見えているが、図面では滑らかになるように計画している。
- ・ 遊び場等に設ける盤面内容は現在検討中である。ダイバーシティに対応するものや、ピクトを中心とした非言語で伝わるデザインを検討予定である。

(3) 身障者用スペース計画の内容を説明。内容は以下の通り。【資料3】

- ・ 大阪府福祉のまちづくり条例の中で、必須事項ではないが推奨していることから、Aゾーンの南北それぞれに身障者用観覧席を計画している。
- ・ 身障者用誘導ブロックを、Aゾーンではクラブハウス入口まで、BゾーンではBゾーントイレまで設ける計画としている。

(4) ワークショップの報告資料の内容を説明。内容は以下の通り。【資料4】

- ・ 本事業のワークショップである「南花台サロン」が12月をもって全6回終了したため、報告資料を作成した。
- ・ ワークショップの集大成である第4回南花台サロン(南花台サロンFES)は、企画や準備を住民の方々と協力して行い、昼夜合わせて300名ほどが参加した大盛況のイベントとなった。

以下、推進委員会意見を記載

- ・ とても良いワークショップとなっていると思うため、この6回のみで終わりではなく、これからも継続してワークショップを行ってほしい。これからどうワークショップを続けていくのか市と協力して検討してほしい。
- ・ ワークショップの目的が「組織づくり」で止まるのではなく、住民の方々が自立した活動が継続的にできる状況を作ることを目的としてほしい。4月の推進委員会までに、ワークショップのこれからの進め方や目標について検討してほしい。

(JVより回答)

- ・ 4月以降も南花台サロンを継続させる形で市と協議している。着工後は敷地内でのイベント等は難しくなるが、仮囲いを使ったイベントや芝張体験、苗植え体験など、公園を実際にみんなで作っていくようなワークショップを検討している。

(5) 市道南花台1号線・駐車場について。

以下、推進委員会意見を記載

- ・ 交通要望としては信号設置だが、複合レーン含め是非進めていただきたい。
- ・ スケートボードなどでの角破損、暴走行為などの問題が起こりうるため、管理面に関して十分検討してほしい。
- ・ 駐車場計画について、来客者と関係者の優先順位を再検討してほしい。

(事務局より回答)

- ・ 協議を行った結果、現在コノミヤ南花台店前にも信号があり、新たに信号機を敷地南側の交差点に設置すると、逆に渋滞を起こしてしまう危険性があるため、信号機の設置は取りやめとなった。代わりに現在、複合レーンとする計画を検討中である。
- ・ 関係者駐車場は、試合時に選手が安全にクラブハウスへアクセスできるように計画している。その他の関係者はできるだけコノミヤ駐車場に車を停めてもらう等の運用とし、できるだけ一般の方々に優先的に利用していただく運用とする想定をしている。

3. 閉会

以上